



(第 37 図)

(35) 高山城図 (第 37 図)

年代 元禄 5～8 年

寸法 188.0×277.5 の絵図の一部

所蔵 原本は、石川県立図書館 トレース図面高山市教育委員会

この図は、昭和 60 年の高山城調査時に、第 10 図の中の、高山城部分を拡大、トレースしたものである。原本は加賀藩士の森田小左衛門が高山在番中に書いたものと考えられている。

本丸から三之丸、南の出丸までの建物が写實的に描かれており、それぞれの場所における城郭建物の形が読み取れる重要な史料である。

建物の描き方は、正面から見た立面と、斜め横から見た立体図が組み合わされており、独特の見取図になっている。

それぞれの建物は、第 38、39 図と符合する。